



会員卓話『岡谷エコ RC 国際奉仕活動の35年』 小野繁男会員 担当:国際奉仕委員会

◆会長挨拶

今日は、うれしいことに新入会員の方をお迎えすることが出来ました。池上和明さんです。後ほど入会セレモニー、バッチ授与を行わせて頂きます。今期、会員増強星野委員長に頑張って頂いて、3人目の新しい仲間を迎えることが出来ました。ありがとうございました。引き続き、よろしくお願ひいたします。

この後、R財団の4名の方の寄付表彰を行います。ご協力頂き本当にありがとうございます。財団は長田委員長、米山は田中委員長に大変ご苦勞を頂いております。

先週、旅学、写学共催の東京旅行がございました。天候にも恵まれ、多くの奥様方にもご参加頂き楽しい旅行となりました。河西一彦学長、宮澤学長と宮下会員には大変お世話になりありがとうございました。

また同じ日に川岸小学校の卒業式がございました。エコからは丸茂委員長にクラブを代表してご出席頂きました。式に先駆けて、本年度の川岸小学校創立150周年を記念して作られた記念誌を小口校長先生にお届け頂きました。大変立派な記念誌です。その中で自然の玉手箱についても5ページにわたって子どもたちの感想や玉手箱の活動の様子や今までの歴史が写真入りで掲載されております。回覧しますのでぜひご覧ください。またメンバーの皆様へと余分に何冊も贈呈を頂きましたのでご希望の方は千葉さんまでお申し出ください。



皆様から頂いている年会費についてですが、一昨年からの諸物価の値上がりはご承知の通りです。予算の中でRIや地区の分担金の人頭割も来期値上が決定しています。私どもが大変お世話になっているマリオ様からも、エコだけ特別に最後まで先送りして頂いたうえで今期から食事代で2割、また事務局費の改定もしております。委員会活動に必要なバス代や、機材の値上がりの影響があつて、吉池幹事には予算面でご苦勞をかけております。期初に申し上げましたが、理事会の方針としては繰越金260万円がありますので出来るところまでは現状の会費で行っていく、ということで進めてまいりました。コロナ5類の移行を受けて各委員会の活動も全て計画通りに進めることが出来ております。残り3ヶ月になって残りの活動に必要な金額をある程度予想することが出来ますので、次回4月の理事会では今期の収支の予想を踏まえて、次年度に向けて年会費の金額について協議を行う予定です。次年度の予算建ても始まっておりまして、充実したエコの奉仕活動と懇親を深める活動を継続していくために必要な協議を行って、またご報告をしていきたいと思ひます。

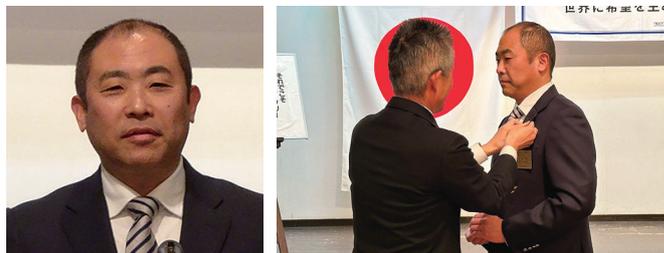
◆新入会員紹介・バッチ授与

藤森会員紹介 (星野広昭会員欠席のため)
池上和明会員

生年月日 1971年9月30日 (51歳)
勤務先 (株)スワコー 代表取締役
勤務先住所 岡谷市川岸上3-3-17

Tel.0266-23-9161 Fax.0266-22-6197

職業分類 プラスチック加工
スポンサー 星野広昭会員



◆ロータリー財団寄付表彰

河西明会員 PHF 2回 / 長田香会員PHF 2回



◆幹事報告

- ・次週4月1日(月) 指定休日
- ・次回4月8日 (月) 地区研修会報告
- ・4月8日例会終了後理事会開催
- ・5月11日 富士宮合同例会 会費22000円程度 ※出欠4月8日取りまとめ
- ◆会長エレクト報告 井口光世
・3月23日 (土) PETS (会長エレクト研修セミナー) 報告
RI方針をうけ地区より各クラブへ 戦略計画 (3年) 委員会設置の依頼 4月30日まで
- ◆次期幹事報告 小島善之
・4月9日 (火) 次年度第2回理事会開催 場所:多留寿司 18時30分～
- ・4月19日 (金)「自然の玉手箱」川岸小学校 保護者説明会

・4月24日（水）諏訪グループ次期会長幹事会開催
場所：マリオ 6時45分

◆委員会・同好会報告

《社会奉仕委員会》

・3月15日 川岸小学校卒業式来賓として出席

《旅学・学学》

・3月15日・16日 東京旅行（劇団四季「ライオンキング」／東京都美術館 他）総勢27名参加



◆卓話

◆「国際奉仕活動の35年」

小野繁男会員

◎はじめに

2018-2019木下年度から4年間のネパール・タルー族女子生徒奨学金支援事業4年間計画が昨年度1年間延長され今年度で計6年間の本事業を終了する事となり本事業のまとめと35周年を翌年に控え、途中の中断時も含め35年間主にネパール支援を行ってきた国際奉仕をまとめることとした。

◎ネパール・タルー族女子生徒奨学金支援事業（エコーRC支援総額186万円）

経過：フィリピン、マンバカヤ島教育施設整備支援事業（4年計画）が2015-2016年度で目的を達成し終了後 新たな支援を2016-2017山崎年度から模索する中、2017-2018野口年度でタルー族女性の地位向上、社会進出、デウクリ地区の女性リーダー育成する為、ネパール・タルー族女子生徒奨学金支援事業（4年計画）が決定され2018-2019木下年度より4年間毎年女子生徒24名に対し奨学金を支給しました。2021-2022進藤年度で4年目が終了後、2022-2023河西年度ではコロナもあり1年間延長。2023-2024河西年度では事業目的を達成したと判断し左近氏と話し合いを行い本年度で事業を終了しました。この6年間で延べ158名に奨学金を支給しました。終了の際に現地福祉委員会より継続支援の要請がありましたが、2025年に左近氏自身が区切をつけることもあり改めて終了の意を伝え理解を頂きました。現実に支援が無くなり勉学の道が閉ざされる未だ貧しい現地の子供達を思うと心が痛みます。事業終了は難しく、支援目的と期間設定の在り方など今後考える必要があると感じます。支援をしてあげるという上から目線ではなく現地の現実を見据えた支援が大事であることを改めて感じました。

《岡谷エコロータリークラブ ネパール支援 まとめ》

(1) 大きな流れ

第1期1990～1994

横山名誉会員が地区のネパール支援に参加したことが契機となり、岡谷RCでネパール支援が始まった。エコーRC設立と共にエコーRCの単独事業へ移行し、主にネパール山岳民族の為の学校建設等の支援を行ってきた。



第2期1995～2005

青年海外協力隊の左近氏と関りが出来、青年海外協力隊への支援へ移行。海外青年協力隊への支援を通じてタルー族福祉委員会へを支援して女性の為の識字教室や職業訓練センターの運営の為の支援を行った。

第3期2006～2011

ネパール支援をクラブの重点目標に据えて、地区大会でもPRする中、会員意識の向上を図り「ネパール・デウクリ地区タルー族女性の自立支援」という具体的な目標を絞り「やまびこ銀行設立」「タルー族女性南部自立センター建設支援」「多くの会員による2回にわたる現地視察」を行いネパール支援を終了した。

第4期2011～2016

新たな国際奉仕としてフィリピン・マンバカヤ島の教育施設の支援（5年計画）を行い目標を達成し終了した。

第5期2017～現在

新たな国際奉仕として、デウクリ地区タルー族女性の自立支援として「やまびこ奨学金制度」を設立し4年計画がスタート。会員の現地視察を行い順調に事業が進んでいることを確認。これまでに延べ158名の女子生徒を支援した。高等教育を受けたやまびこ奨学生が今後、タルー族女性のリーダーとして活躍することを期待し、事業を終了した。

(2) まとめにならないまとめ

34年の国際奉仕やネパール支援を振り返ると個人の強い思いからスタートし現地の実行者と協力し打ち合わせをしながらクラブ全体での理解を得る中、事業を継続し発展させている形が見えてきます。ネパール支援は大きな成果を上げてきましたが特に1995年から始まり大変長い支援を行ってきたデウクリ地区タルー族女性の自立支援は左近氏から送って頂いているナマステ・パットラ通信での現地女性の生の声や写真、また福祉委員会の会計報告や事業報告から私たちの支援が本当に役に立っていると感じさせる内容です。現在のネパールやデウクリ地区の状況は35年前よりも経済的にはかなり向上し、また女性の地位も政治の変化と共に向上してきました。（しかし世界の最貧国の一つは変わらない）左近氏も2025年末で一旦区切りをつける中、今後は福祉委員会が自主運営を主体として活動する事を期待したい。（但し現在タルー族福祉委員会の収入の22%が日本からの支援）尚、2026年以降について左近氏は個人的な支援の窓口としては継続したいとの事で可能なら個人として支援をお願いしたいとの事でした。

来年度我がクラブも35周年を迎えるが、過去の周年を見ると会員の現地視察が記念事業として実行されており、是非、奨学金事業や過去のネパール支援の現地視察が企画、実行されることを希望します。

◆川岸小学校150周年記念誌 P201～205 自然の玉手箱のあゆみ掲載 ※希望者事務局まで



ラッキーナンバー・ニコニコBOX・出席報告

■ラッキー NO.66 河西一彦会員

■ニコニコBOX 45,000円

■出席報告

会員数 49名 出席 27名 欠席 22名

出席率 56.25% 訂正 74.47%

3月11日

■出席報告

会員数 48名 出席 34名 欠席 14名

出席率 72.34% 訂正 60.4%

今週のプログラム 4月8日(月) PM0:30

マリオ/クラブ協議会 地区協・研修報告

次週のプログラム 4月15日(月) PM0:30

マリオ/卓話 講師：栗崎久雄諏訪税務署長